



子どもは大人のおもちゃではない

最近、TVで子どものスポーツが取り上げられる機会が多いように見受けられます。子どもが楽しくカラダを動かすリポートならいいのですが、「勝った負けた」の紹介が多く見られます。残念なことです。

イギリスの学者だったと思いますが、「子どもはプロセスを楽しみ、大人は結果を楽しむ」といいました。子ども時代に結果を求めることは「子どもの大人化」で弊害が多いので子どもには、「プロセスを楽しむ」ように教育した方が将来大きな飛躍につながります。

子どもは無限の可能性を持っているのに小さい内に優劣を付けすぎると「自分はダメだ」とか「素質がないから伸びないのだ」と子どものわずかな人生経験の中で判断して身を入れてやらなくなる恐れがあります。

勝つためではなく、楽しくカラダを動かすことでどうしたら上手くなるか工夫したり、友達と協力し合っ友情が生まれたり、成功には何種類も方法があることを知るなど個性的な発想や独自の体験が出来ます。

これはほんの一例ですが、子ども時代は、「勝敗」にこだわらない方が身に付くことが多く生き生きとします。また、勝ち負けだけの優劣がない分、常に楽しく故障のないカラダづくりもできます。

スポーツの秋、子どもの為の運動をしましょう。

まっく代表 向井忠義